

『東京金融賞金融イノベーション部門 表彰式』



“Web 3.0型” 真正性担保プラットフォーム

鑑定証明システム[®]
cycaltrust authentication system



サイカルトラスト株式会社



cycaltrust inc.



cycaltrust inc.
サイカルトラスト株式会社

「サイバー」 × 「フィジカル」

=

トラスト (真正性)

ウソ・偽りのないトラストな世界を。



※ 東京都ビル群



※JPタワー



※ 東京都ビル群



※JPタワー



※ 東京都 除染作業など“ミサイル落下”を想定し訓練 (テレ東BIZ(ビズ))

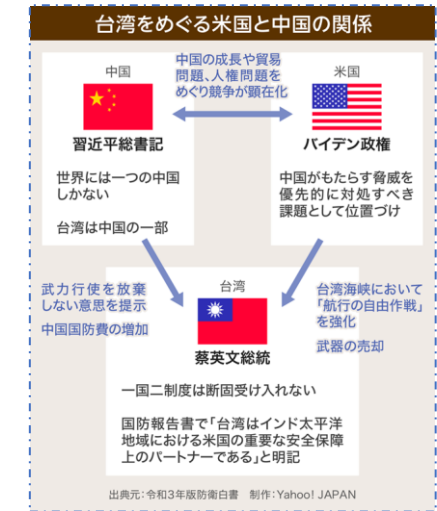
① ロシア・ウクライナ有事 (※4)



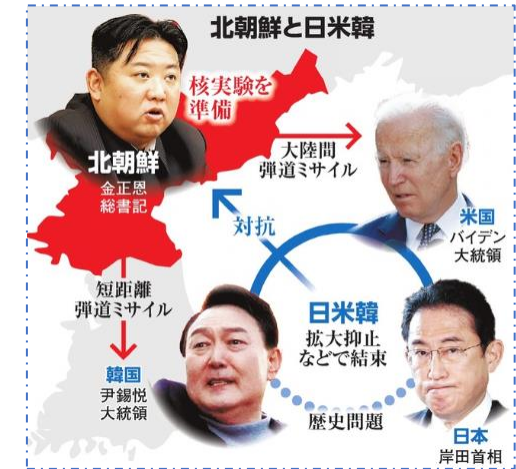
③ イスラエル・ガザ地区有事 (※6)



② 中国・台湾有事 (※5)



④ 韓国・北朝鮮有事 (※7)

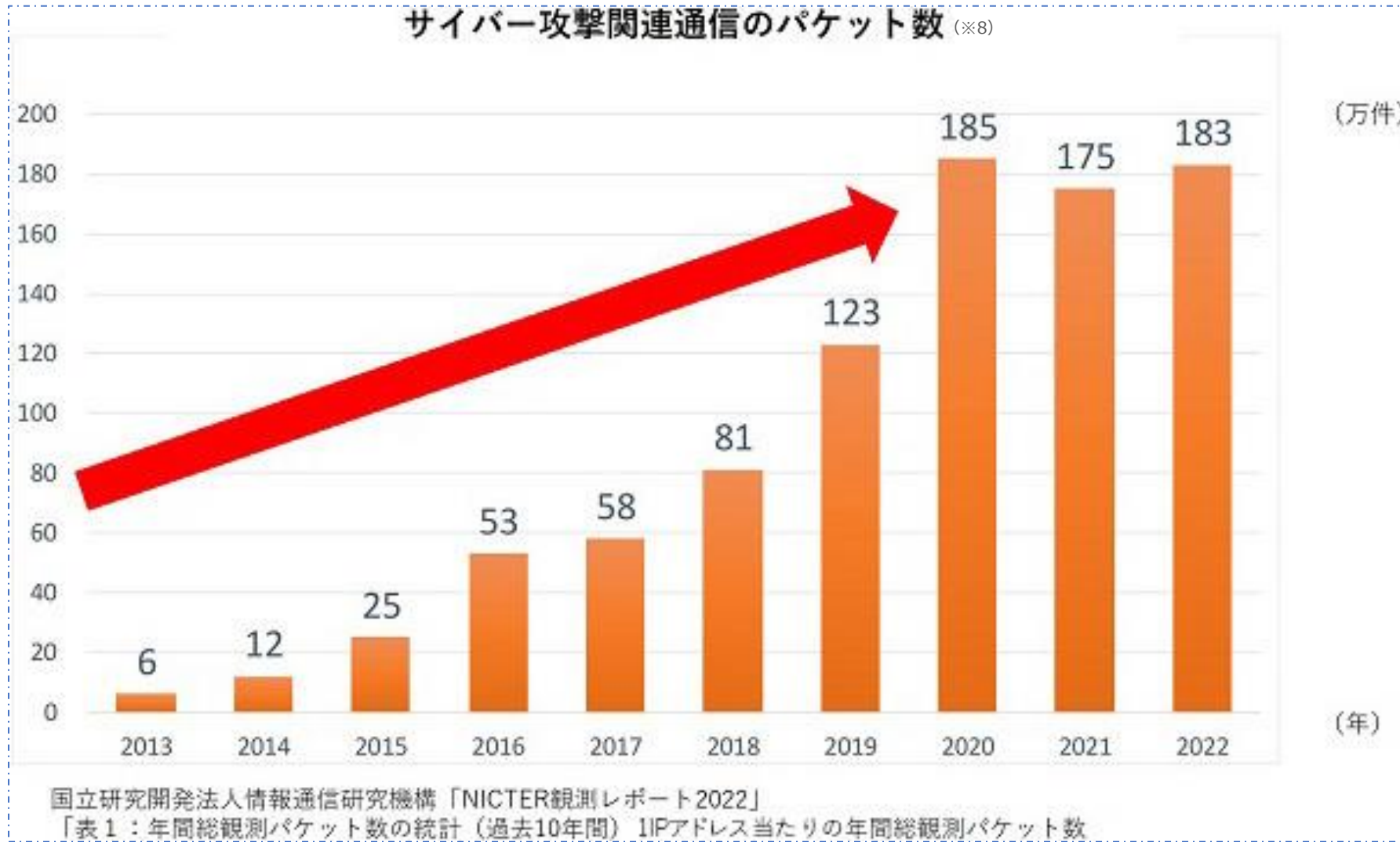


(※4) 「ロシアが制圧したウクライナの地域」米戦争研究所 2023年

(※5) 『防衛白書 ～日本の防衛～』令和3年版

(※6) 「最新パレスチナ情勢 なぜイスラエルと衝突か」 NHK国際ニュースナビ 2023年10月

(※7) 村野 将『平和安全法制後の朝鮮半島有事に備えて』 国際安全保障 第47巻 2017年



(※8) 『NICTER観測レポート2022』 国立研究開発法人情報通信研究機構 2023年

2022年5月、「サイバー攻撃」の脅威に対処する
緊急立法として

「経済安全保障推進法」 が成立

(2024年2月まで：罰則規定あり (※9)) 。

(※9) 2年以下の懲役もしくは100万円以下の罰金

基幹インフラサーバ機器



真正性担保

SBOM

HBOM

ソフトウェア部品

ハードウェア部品

国が指定した「重要インフラ14分野」の業界が対象。

2023年11月、各省庁から企業名がWebサイト上で公表され（213社）、

200項目から成る『導入等計画書』の提出義務が明示されました

= 「must have」 (罰則規定あり)



「経済安全保障推進法」に準拠する既存システムは存在していません！

これからつくると3年以上かかるといわれています！

“Web3.0型”として発明された複数特許取得済み **「鑑定証明システム」** でしたら、

4月1日から導入可能です！

<取得済み特許番号一覧>

【第一特許】

- ・特許番号：第6894033号
- ・EP特願：3926568
- ・US特願：2021-0390557 A1

【第二特許】

- ・特許番号：第7371301号
- ・米国 特願：US Application 18/565,778
- ・PCT/JP2022/040241

【第三特許】

- ・特許番号：第7367270号
- ・PCT/JP2023/017529

【第四特許】

- ・日本 特願：2023-078864

【第五特許】

- ・PCT/JP2023/017746

【第六特許】

- ・台湾 特願：112117499

「鑑定証明システム」とは、

- (ア) ブロックチェーン (blockchain)
- (イ) NFT (non-fungible token)
- (ウ) 分散型ID (DID : decentralized identifier)
- (エ) 検証済み認証 (VC : verifiable credentials)
- (オ) 動的合意形成 (dynamic consent)
- (カ) ゼロ知識証明 (zero knowledge proof)
- (キ) ゼロトラスト (zero trust)
- (ク) マルチシグ認証 (multi-sig authentication)
- (ケ) AI (artificial intelligence)

上記9つの特徴を利活用し、

「バリューチェーン」および「サプライチェーン」を連結担保することで
「製品」の

- ・ 「真正性担保 (情物一致・デジタルツイン・RWA) 」
- ・ 「サプライチェーン透明化」
- ・ 「カーボンフットプリントの真正性」

等々を完全に保証する“Web3.0型”真正性担保グローバルエコシステム
プラットフォームのことをいいます。



+

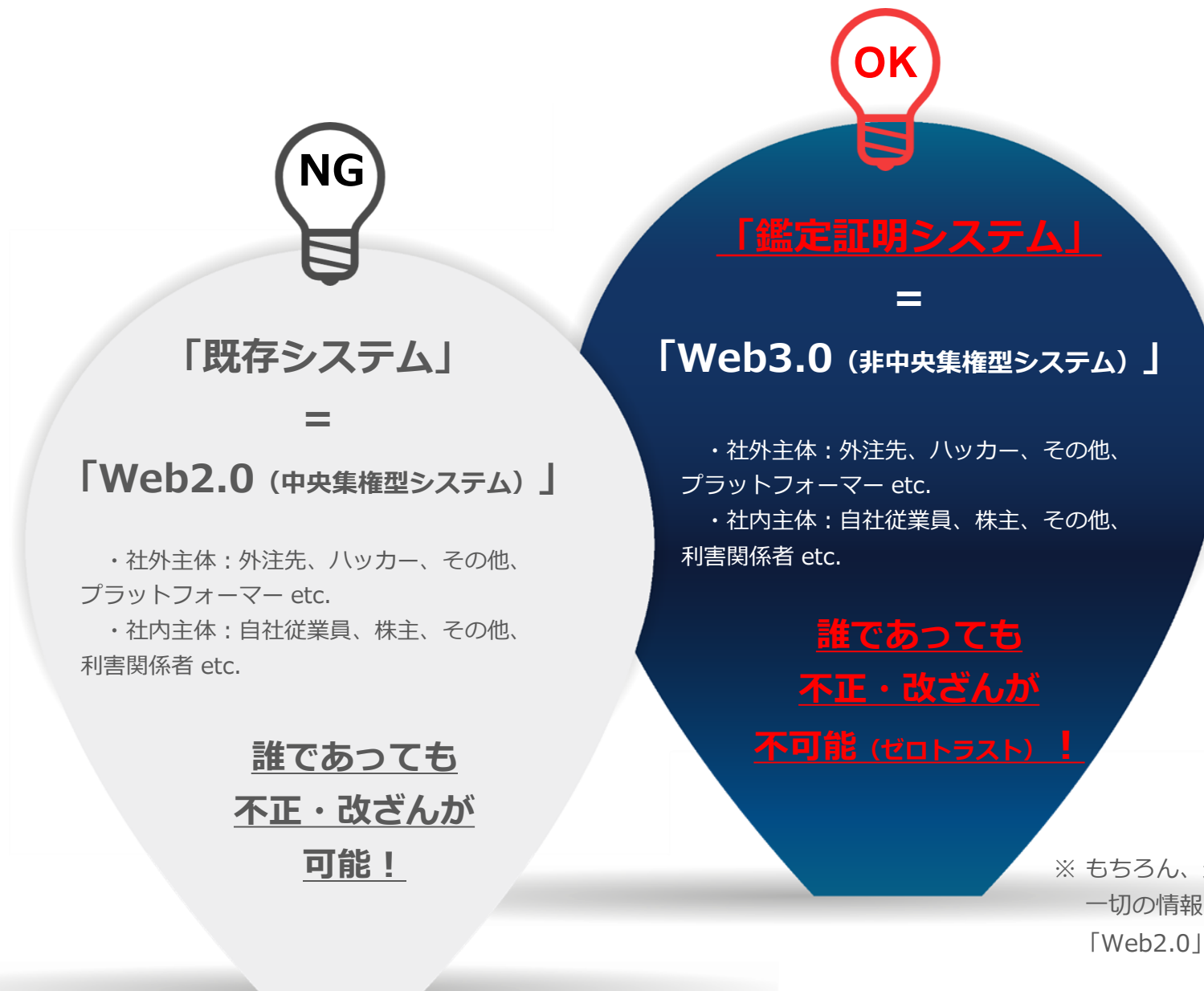


+



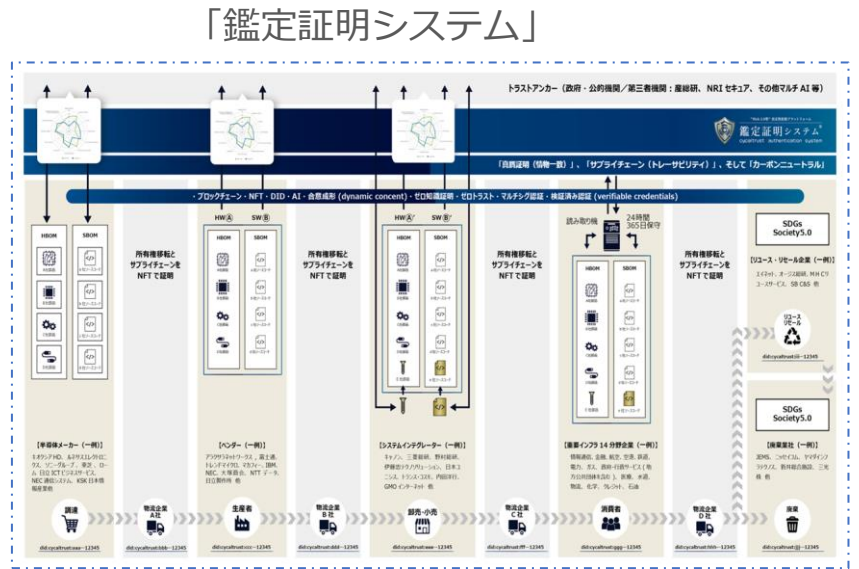
||

- ・ 「真正性担保 (情物一致・デジタルツイン・RWA) 」
- ・ 「サプライチェーン透明化」
- ・ 「カーボンフットプリントの真正性」

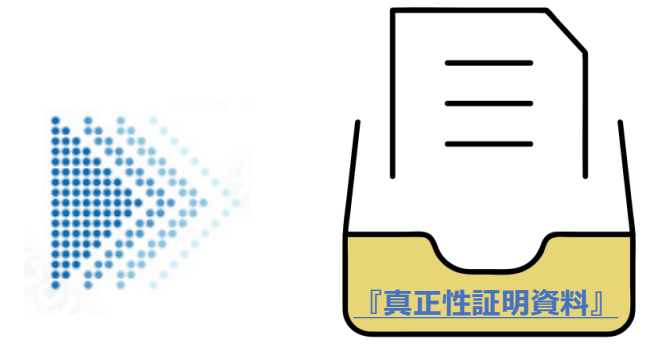


※ もちろん、運営主体である弊社ですら一切の情報を管理することが不可能な点が「Web2.0」と「Web3.0」との大きな違いです

「鑑定証明システム」と「重要インフラ14分野」 該当企業に導入されている
「ERP (Enterprise Resources Planning)」 を連携させるだけで、
 各省庁の要求に適合した **『真正性証明資料 (「鑑定証明システム」独自スコア付)』**
 がクリック一つで抽出できる設計。

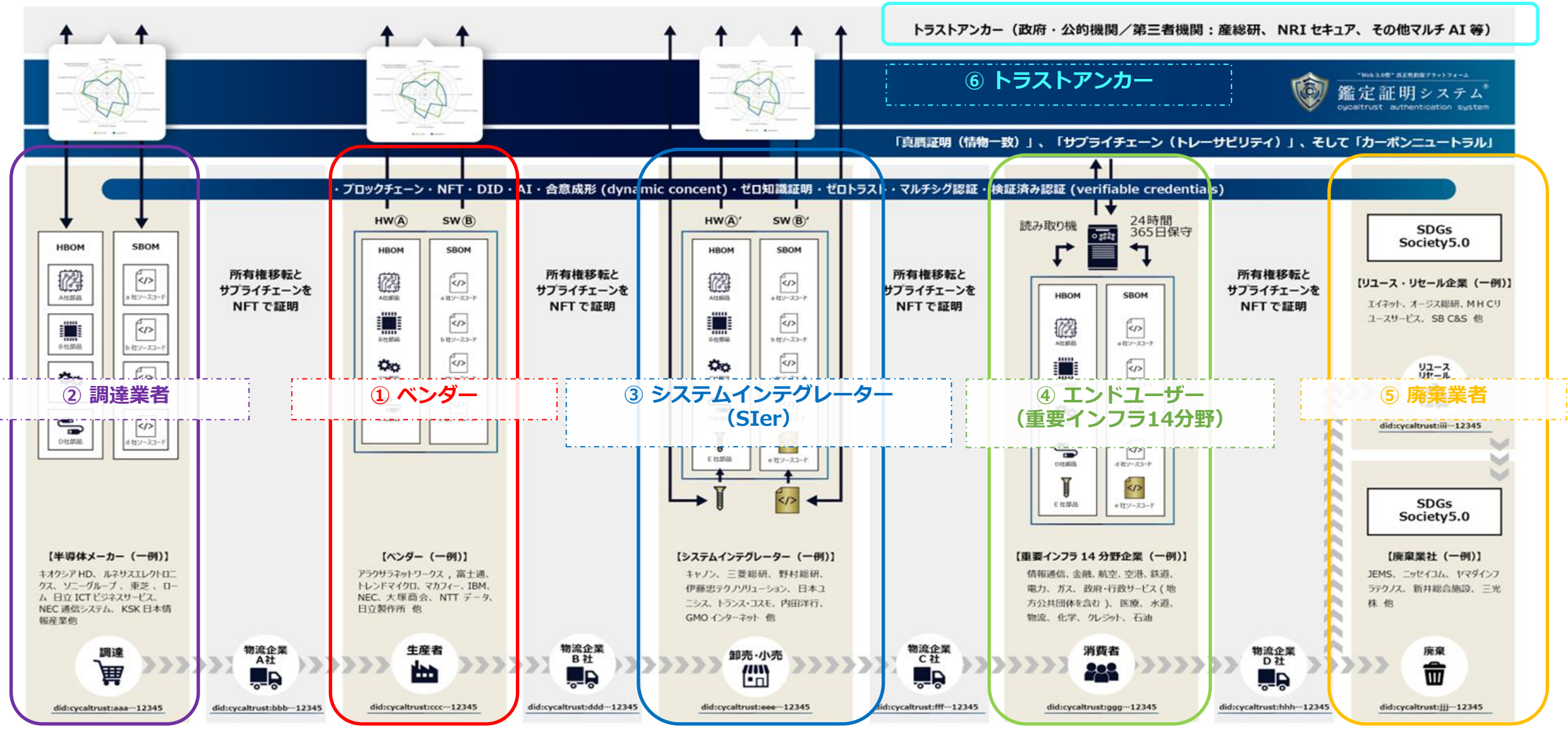


『導入等計画書』に
 利用可能なエビデンス資料

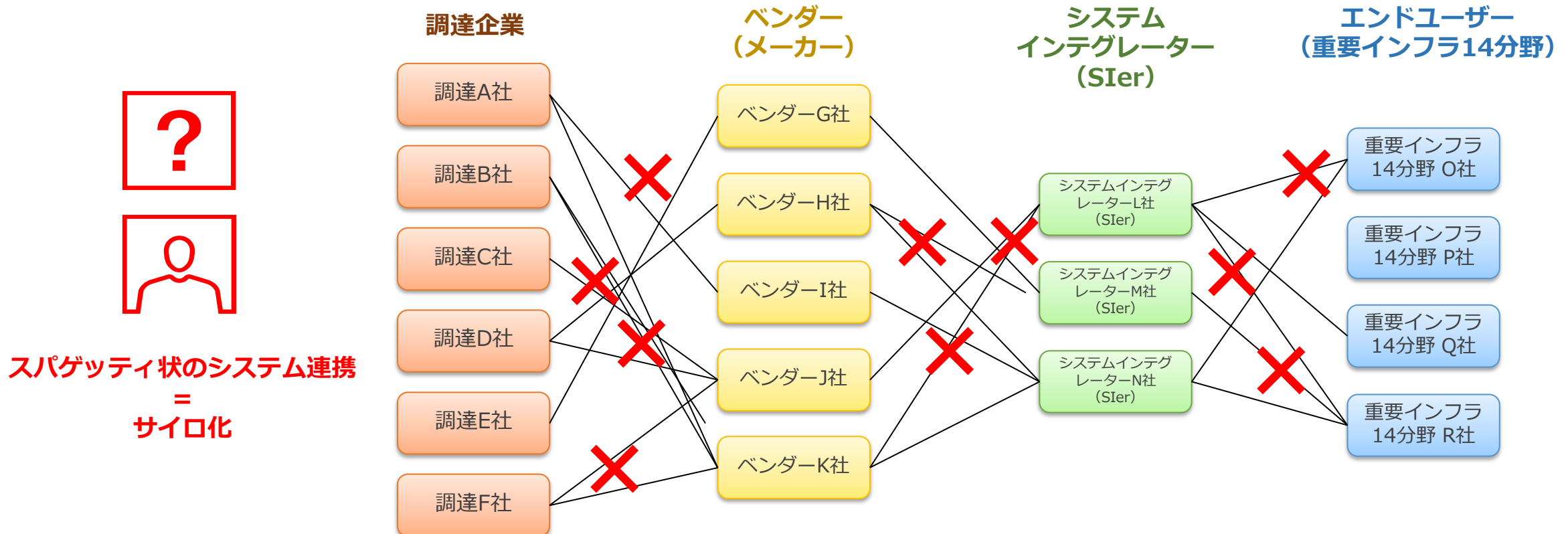


「鑑定証明システム」スコア
 : 88点 (一例)

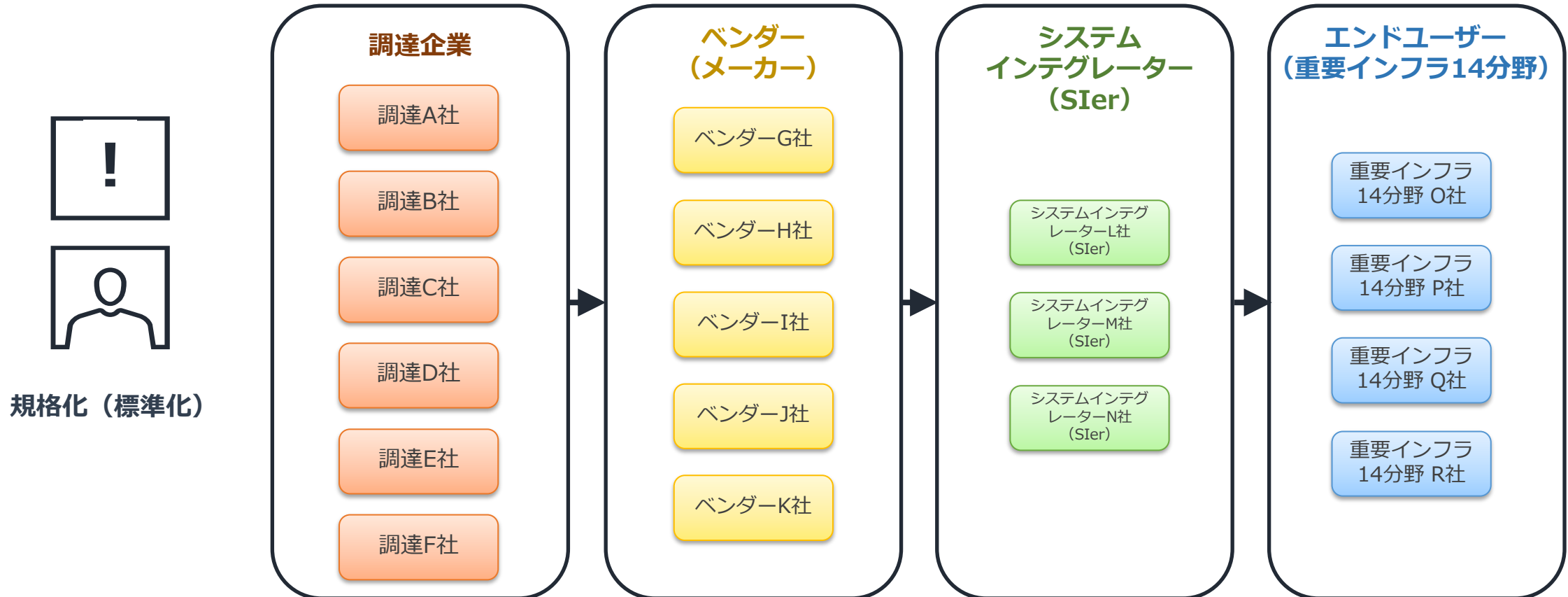
04 「鑑定証明システム」とは？ (4) 「基幹インフラサーバ機器業界」のステークホルダー



「基幹インフラサーバ機器」の真正性ソリューションを各ステークホルダーが
 独自に実施すると、**「サイロ化」**を生み、**社会コストの増大**や
 最終的には**エンドユーザーに価格転嫁**される重要な社会課題を生み出します。



ISO (TC307 : ブロックチェーンに関する国際標準規格) を視座に入れた
プラットフォーム「鑑定証明システム」を利活用することで、
「サイロ化」を防ぎ**「規格化 (標準化)」**を実現。

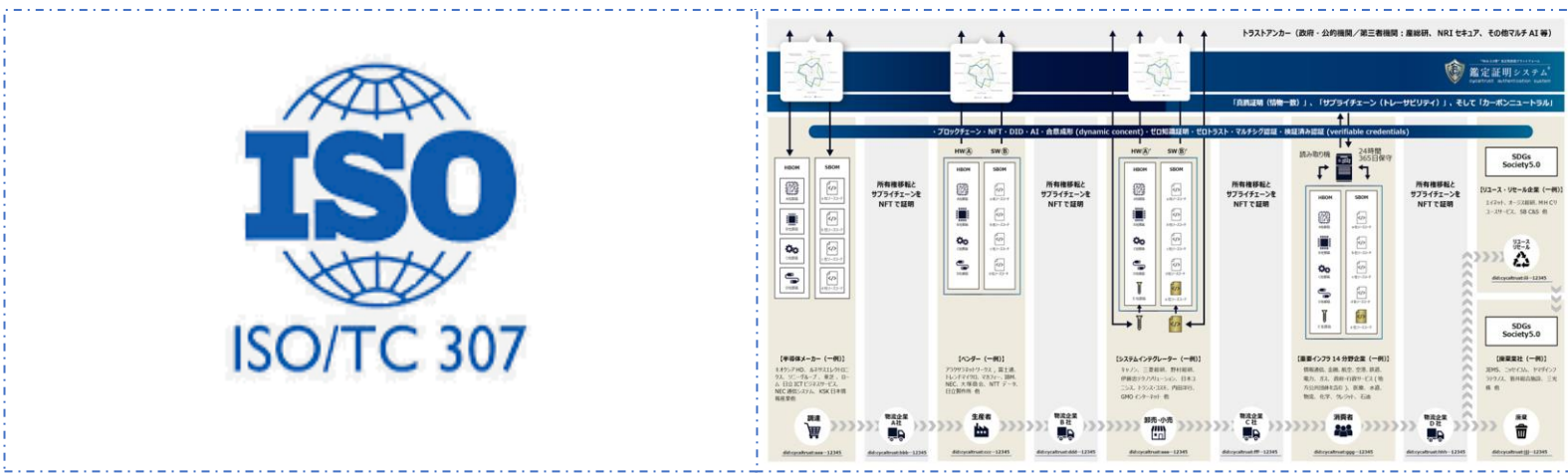


弊社は、一般財団法人 日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC)、一般財団法人 日本規格協会 (JSA)、その他経済産業省が共催し、一般社団法人 日本経済団体連合会 (経団連)、一般社団法人 新経済連盟 (新経連)、その他国内ブロックチェーン団体すべてが加盟する「『ISO/TC307』に係る部会」に参画しています。本部会において「鑑定証明システム」を国際標準化 (プロセス規格) に昇華させるための協議を重ねています。

また、本年6月にスペインで開催される「ISO/TC307」に係る国際会議への出席を予定。

「知的財産権 × ISO/TC307」という「オープン・クローズ戦略」を有していることが弊社の「最大の強み」です (知的財産権に関してはFRAND宣言)。

「ISO/TC307」





ceo

須江 剛

代表取締役

 一般社団法人 日本エストニア商工協会 副事務局長
 日本大学 芸術学部卒

【役割】

代表取締役として、経営戦略の立案・実行、企業価値の最大化、社員・ステークホルダーの幸福度向上を担当しています。また、「鑑定証明システム」を活用した事業を展開し、市場での競争力を高めることも重要な役割の一つです。

【経歴】

日本大学芸術学部卒業後、大手ショッピングモールでの経験を活かし、カスタマーサポート案件やM&A案件に従事していた期間に、真贋証明（情物一致）とブロックチェーン技術を組み合わせたビジネスプランの練り上げに着手しました。その後、起業を決意し、現在のスタートアップ企業を設立しました。起業後は、「鑑定証明システム」を活用した製品やサービスの発展拡大に全力投球しています。

【スキル】

- ・経営戦略の立案・実行に必要なマーケティングや財務、法務、人事などの知識
- ・大手ショッピングモールでのカスタマーサポート・M&A案件に従事していた経験から得た企業経営やビジネスモデルに関する専門知識
- ・真贋証明（情物一致）とブロックチェーン技術に関する高い専門性と開発能力
- ・社員やステークホルダーとのコミュニケーション能力やリーダーシップ能力



COO

熊谷 絵美

最高執行責任者

【役割】

最高執行責任者として、企業の全体戦略の策定・実行、ビジネス開発の推進、顧客満足度の向上、組織力強化などを担当しています。また、自身が持つ専門知識を活かし、事業戦略の立案やビジネスモデルの構築に関し【ceo】の右腕としての役割を發揮しています。

【経歴】

西南学院大学卒業。その後、大手ショッピングモールにて経営学に関する専門知識を習得しています。また、スタートアップ企業での事業開発経験を積み、その経験を生かして、現在の企業で経営戦略やビジネスディベロップメントを担当していました。

【スキル】

- ・英文学や経営学に関する高度な専門知識と研究能力
- ・スタートアップ企業での事業開発経験から得た、ビジネスモデルの構築や事業戦略の立案に関する知見
- ・ビジネスディベロップメントに必要なマーケティング、営業、プロダクトマネジメントなどの幅広い知識



cto

新野 浩一

最高技術責任者

【役割】

最高技術責任者として、企業の技術戦略の策定・実行、新技術の研究開発、製品・サービスの技術的な品質向上などを担当しています。また、自身が持つ高度な技術力を活かして、製品・サービスの技術的な面に関するリーダーシップを發揮しています。

【経歴】

東京理科大学情報工学部を卒業し、大手ITベンダーの研究所で新技術の開発に従事しました。その後、自身が持つ技術力を生かして、スタートアップ企業でのプロダクト開発を担当しています。これまでに多くのプロダクトの設計・開発を手掛け、とりわけブロックチェーン技術に通曉しています。

【スキル】

- ・ブロックチェーン技術やソフトウェア開発に関する高度な知識と研究能力
- ・新技術の開発や研究開発に必要な分析力やアイデアの創造力
- ・複数のプログラミング言語やフレームワーク、データベースなど、幅広い技術スタックに対する熟練度

ウソ・偽りのないトラストな世界を。

ご清聴いただきありがとうございました



cycaltrust inc.

サイカルトラスト株式会社